

RCC NEWS

※RCCは「いわき明星大学 地域連携協議会」の略称です。

CONTENTS

- 「いわき市議会 × いわき明星大学生」投票率向上に関する意見交換会
- 平成29年度 看護師実習指導者講習会
- 平成29年度 地域連携協議会 総会
- [産業部会] 情報交換会
- 包括連携の活動成果報告
- キャンパスインフォメーション
- 機関誌「福島への道」へ連載寄稿
- 新入社員合同研修会の募集要項
- 役員会のご案内

「いわき市議会 × いわき明星大学生」投票率向上に関する意見交換会について

本年1月19日、本学講義室にて「いわき市議会」と「本学学生」による意見交換会を実施しました。「市民とともにさまざまなアイデアを出し、解決に向けて協議したい」という市議会議会改革推進検討委員会の声から企画されたもので、初開催の今回は委員10名と学生21名が参加。「投票率向上」をテーマにそれぞれが3班に分かれ、政治に対する市民の関心を高めるための方策を考えました。

討議では「スマホを使って投票できるようにする」「投票した人に生活用品を贈るなどの特典をつける」「投票用紙の半券に数字をふって宝くじにする」などのユニークなアイ

デアに加え、「ライバル議員を蹴落とすようなネガティブキャンペーンは禁止にしたらどうか」といった率直な意見も挙がり、大きな盛り上がりを見せました。実効性の高いアイデアについては、政策提案検討委員会につなげていただくこととなり、学生にとっては地域政策の問題を主体的に考える大変貴重な機会となりました。

「地域の課題に自分事として向き合い、課題解決に向けて自ら知恵を絞る」、そうした主体的な体験・活動を今後も継続し、学生の成長と地域への貢献につなげていきたいと思



平成29年度 看護師実習指導者講習会について

厚生労働省「保健師助産師看護師実習指導者講習会実施要綱」に基づき、福島県の委託を受けて「いわき明星大学 看護師実習指導者講習会」を開催しました。

本講習会は、保健師養成所、助産師養成所、看護師養成所若しくは准看護師養成所の実習施設で実習指導の任にある者又は将来これらの施設の実習指導者となる予定、もしくは上記養成所において実習指導の任にある者に対して、看護教育における実習指導の意義及び実習指導者の役割を理解し、効果的な実習指導ができるよう、また、看護師2年課程通信制の特徴及び学生の特徴を理解し、教育的配慮を行うために必要な知識及び技術を修得させることを目的として実施しています。

講習期間は計8週間(240時間)と定められており、本看護学部では9月2日から12月16日までを講習期間とし、病院や施設で働きながら講習会に参加できるよう時間割を設定しています。

受講資格は、下記の(1)及び(2)の要件も満たす者で、本年度は19名が受講しました。

- (1) 臨地実習を受け入れている、又は今後受け入れ予定にある福島県内の病院等の保健・医療・福祉施設の常勤者で所属施設長から推薦された者
- (2) 看護師の資格取得後3年以上の実務経験を有し、現に実習指導者の任にある者、又は将来実習指導者となる予定の者

その殆どが本学で実習をお願いしている病院や施設からの推薦で来た看護師さんで学習意欲の高い方たちばかりでした。

講義科目は、教育原論、教育心理、教育方法、教育評価、看護論、看護教育課程、実習指導の原理、実習指導の評価、実習指導の実際、看護師2年課程通信制に関する科目、看護倫理、看護研究の基礎、特別講義であり、看護学部の教

授を中心としたその専門分野の先生方と教養の先生、また通信課程の講義は現在通信課程を教えている外部の先生にお願いして講義を行いました。

受講生の方々は、勤務後や夜勤明けという状況で来ているにも関わらず、真剣に取り組んでいる姿に、我々教員もつい力を入れて時間を忘れて話し込むという状況も見受けられました。臨床場で実際に学生指導をしている看護師さんと大学で学生の教育をしている教員が一体となって、臨床場の現状や看護教育についてのディスカッションは、大変重要なものであり、いわき市の看護の質向上に寄与するものと考えております。これからも多くの看護師さんたちの学習の場としていわき明星大学看護学部はありたいと思っております。

240時間の全日程を終えた受講者への修了式を12月16日に行い、19名の臨床実習指導者が誕生しました。

(看護学部長 久米美代子)



平成 29 年度 地域連携協議会 総会

平成 29 年度 地域連携協議会 総会を昨年 7 月 12 日、いわき市小名浜のカルチェ・ド・シャンブリアンで開催しました。総会には、いわき市長の清水敏男様をはじめ、多くのご来賓、会員の皆さまにお集まりいただき、昨年度の事業報告および決算報告、今年度の事業計画と収支予算案についての承認をいただきました。

第二部の情報交換会では、教育部会から「高校との連携プログラムの取り組み」としてアクティブラーニングを取り入れた連携事業について、参加した学生からの話を交えながら紹介をしました。続いて、産業部会から「地域企業の中核人材育成に向けた取り組み」と題し、昨年度実施した若手リーダー育成塾の参加者と共に振り返りと今後の展開について意見交換をしました。

今後も、大学の持つ教育・研究リソースを軸に、行政、企業、教育との連携を強め、地域の発展に寄与できるよう尽力いたします。



第一部 総会



第二部 合同情報交換会

産業部会 情報交換会

昨年 12 月 6 日、地域連携協議会(産業部会)情報交換会を本学で開催しました。以前、会員企業の皆さまと触れた機会のなかで、異なる業種や職種であっても、コア人材の確保や育成には共通の課題があることが分かったため、今回は、パネル企業等のコア人材における確保や育成の現

パネルディスカッションでは人材育成について貴重な話をたくさんいただきました



状、課題等を挙げ、その課題の解決に向けた議論をパネリストだけでなく、参加者も交えた形で行い、参加会員企業それぞれが自社に置き換え、人材開発改善等の手掛かりを得る場を提供することを目的とし、テーマを「組織の強みを担う人材を育成する仕組みについて一業種を超えたコア人材の確保と育成」として意見交換を行い、異業種におけるコーチングの考え方などを知ることができた内容として高い評価をいただきました。

本協議会が、地域連携協議会の設置趣旨である「地域産業の活性化と地域人材の育成」を目指して、行政、企業、大学の思索や取り組み、成果等を交換し合う共通のプラットフォームとなるよう努めていきます。

パネリストの紹介(写真右から)

- ・株式会社いわきスポーツクラブ 代表取締役 大倉 智 様
- ・株式会社東邦銀行 人事部副部長 菊田真司 様
- ・いわき明星大学 薬学部教授 渡邊義久(元 福島労災病院 薬剤部長)
- ・いわき明星大学 看護学部講師 鈴木久美子(元 山梨大学医学部附属病院 副病院長・看護部長、いわき市出身)

トピックス①

包括連携の活動成果報告について

いわき明星大学と福島民報社は昨年 6 月、包括連携協定を締結し、社会への興味関心を持ち、地域社会の未来を切り開く人材の育成を推進することを目的とし、協定に基づき 8 月には「新聞社の仕事を学ぶインターンシップ」、11 月には「双葉地方の未来を考える 1day 学生ツアー」を実施しました。

インターンシップは 5 日間の日程で、教養学部の 3 年生 3 名が参加しました。福島民報社のインターンシップは通常、福島市の本社で受け入れています。今回は初めて、いわき支社を拠点とし、本社にも 1 日だけ来ていただくことにしました。学生は取材して記事を書く記者の仕事をはじめ、広告営業、イベント企画、販売、印刷など「職種のデパート」ともいわれる新聞社の幅広い業務を学びました。最終日は震災・原発事故で大きな被害を受けた双葉地方を回る取材に同行し、被災地の「今」を肌で感じました。

双葉地方ツアーは福島民報社が協定を結んでいる県内の大学・短大を中心に参加学生を募り、参加者 30 名のうち、いわき明星大学からは最多の 9 名に参加していただきました。避難指示の解除が進む双葉地方の現状を理解し、福島県の未来について考えてもらうのが目的で、バスで広野、楢葉、富岡、大熊、双葉、浪江の 6 町を北上しました。広野町では桜 20 本を植樹し、楢葉町では同世代の若者や東京電力の関係者らから復興状況や原発の廃炉などについて話を聞きました。富岡町で 7 年ぶりに復活した「えびす講



双葉地方の未来を考える 1day 学生ツアー



インターンシップ

市」、津波被害を受けた当時のまま残されている浪江町の請戸小学校なども訪れ、「明」と「暗」が混在する現状を目の当たりにしました。

インターンシップに参加した学生からは、「残りの学生生活で何を学んでいくべきか明確になった」「多くの人のアイデアと協力で新聞が作られていることが分かった」などの感想が寄せられました。双葉地方ツアーに参加したいいわき明星大学生は SNS で訪問先の情報発信に努め、「双葉地方の現状と人々の思いを受け止め、自分たちがこれからどのように支えていけるのか考えたいと感じた」などと語ってくれました。いずれの企画においても、いわき明星大学で学ぶ学生の意欲的な姿勢に頼もしさを感じ、福島民報のスタッフは大いに刺激を受けていました。

福島民報社は「地域づくり会社」のコンセプトを掲げており、これからもいわき明星大学と手を携えながら、地域に学び、将来にわたって活躍する人材の育成をサポートしていきたいと考えております。

株式会社福島民報社
地域交流室地域交流部長 渡部育夫

Campus Information

キャンパスインフォメーション

大学一丸となって参加！

第9回いわきサンシャインマラソン 2018

第9回いわきサンシャインマラソン 2018 の完走を目指し、昨年9月より五十嵐幸一副学長（教養学部教授／専門分野：体育学、コーチ学）の指導のもと、学生・教職員向けの「ランニング塾」を開講しました。これまで、出場する大学関係者はあくまで個人参加という位置付けでしたが、大学チームとして参加することによるPR効果、また正しいトレーニングによる個人のレベルアップが目的です。

ランニング塾は、週3日の約1時間で、主な練習は入念な準備運動とタイムを意識した3～5kmのランニング、時折、体育館での体幹トレーニングやマシンを使った運動を行い、メンバー同士の親睦を深め、切磋琢磨してきました。

快晴に恵まれた当日2月11日、親子2kmに本学マスコットキャラクターのアドちゃん、5kmに3名、10kmに12名、フルマラソンに9名が出場しました。東京都日野市の明星大学とも合同チームを組み、揃いのユニフォームで完走したメンバーからは「いつもよりタイムが良かった」「つらかったけど楽しかった」という声が聞かれました。

サンシャインマラソンのために始動したこのプロジェクトはここで一旦終了となりますが、メンバーは他の大会を調べたり、来年はフルマラソンに出場！と決意表明をしたりと、今後の健康維持にも繋がります。



「ランニング塾」における指導の様子



↑写真左から
菊池雄士副学長
完走した学生たち
快走する本学マスコット アドちゃん

←ボランティアスタッフとしても参加
出場選手を一生懸命サポートしました

トピックス②

機関誌「福島の進路」

一般財団法人とうほう地域総合研究所が発行する機関誌「福島の進路」に、平成29年度（平成29年4月号～平成30年3月号）本学教員による「私の研究」がリレー形式で寄稿しております。

Webでの閲覧が可能ですので、是非ご一読下さい。

■一般財団法人とうほう地域総合研究所

<http://fkeizai.in.arena.ne.jp/>

■機関誌「福島の進路」

<http://fkeizai.in.arena.ne.jp/kikanshi>

4月号掲載：薬学部助教 佐藤 陽

「脂質を標的としたペプチド創薬研究」



トビタテ！留学 JAPAN

日本代表プログラムを活用して

例年、本学学生は、官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」を活用して、長期休暇中に留学生として海外に飛び立っています。

今年度は、教養学部2年 鈴木千尋さんがフィンランド南西部の古都トゥルクに留学し、現地の小中学校での英語教育を視察し、また、日本とは異なるフィンランド文化に触れ、貴重な体験をしてきました。

なお、来年度は、教養学部の熊谷宏一郎さんが、アメリカ合衆国カリフォルニア州で、「テクノロジーを使って、教育格差をなくす」ことを目的として、約1ヶ月間の留学を予定しています。



ヘルシンキ大聖堂の前での記念撮影
(鈴木さん：写真左)



帰国後の11月12日には産業創造館ラ
トブにて留学報告会が行われました

吹奏楽団とフラダンスチーム初共演

福島県立いわき支援学校 訪問

昨年10月10日、吹奏楽団38名とフラダンスチーム7名が、福島県立いわき支援学校のお招きで、「小・中学部芸術鑑賞教室」にゲスト出演しました。今回は吹奏楽団だけの演奏でしたが、今回は、今年度4月に発足したばかりのフラダンスチームと合同で出演し、初のコラボステージを行いました。

会場となった同校の体育館では、小学部の児童・中学部の生徒、及び教職員約200名の方々に迎えていただき、根本直人教授指揮のもと、「吹奏楽団」と「フラダンスチーム」が合同で、合奏曲・アンサンブル曲合わせて10曲、フラダンス4曲を披露しました。演奏内容は児童・学生向けのアニメソング等が中心で、お馴染みの曲が多く会場は手拍子・掛け声が沸き起こりおおいに盛り上がりました。

演奏終了後は児童・生徒の代表者から感謝の言葉や手作りの記念品をいただき、その後一緒に記念撮影をする等、いわき支援学校の皆さんと心温まるひとときを過ごしました。

いわき明星大学吹奏楽団、フラダンスチームは、今これからは地域からの要望に応え、慰問・依頼演奏を行い、積極的に社会貢献活動に取り組んでいきます。



初共演のステージ＜南の島のハメハメハ＞

募集要項

新入社員合同研修会

本プログラムは、企業入社時の早い段階で、社会人としての心構え、人生設計やキャリアデザインなどをしっかりと持ち、社会人基礎力を強化することで、若手社員の定着を図ることを目的としています。

まずは、学生・生徒から社会人への切り替えを図った上で、ビジネスマナーの修得など社会人の基礎知識・能力を理解できるプログラム構成となっております。また、企業の垣根を越えた受講者同士の交流は、研修の効果を大きく促進させることが期待できます。

■研修日時／

Aコース 前半 平成30年4月5日(木)
9時00分～18時00分

Aコース 後半 平成30年7月頃 13時30分～16時30分

■受講料／ ①会員企業 10,000円
②非会員企業 20,000円

Bコース 平成30年4月5日(木)のみ
9時00分～18時00分

■受講料／ ①会員企業 8,000円
②非会員企業 16,000円

※但し、各コースの最少開講人数は10名とする。

■研修内容／

A・Bコース共通 平成30年4月5日

- | | |
|---|---|
| ビジネスマナーⅠ
・挨拶、第一印象 | ・挨拶トレーニング
・第一印象、非言語コミュニケーションの重要性を知り、ポイントを学ぶ |
| グループワーク
・学生と社会人の違い | ・時間管理、コンプライアンス意識、公私の区別、組織人としての自覚への気づきを促す |
| ビジネスマナーⅡ
・言葉遣い、名刺交換
・電話、報連相
・席次、来客、訪問 | ・言葉の遣い方や名刺交換ができる
・電話にて研修報告をする
・来客時、訪問時のマナーを理解し、実践する |
| 自己理解・他者理解 | ・自分の傾向を理解し、ストレスとの付き合い方を知る |
| まとめ | ・プレゼンテーション
今日一日で学んだことを振り返る |

Aコース後半 平成30年7月開講予定

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 3か月の振り返り | ・仕事内容、自分の課題 |
| 新入社員が陥りやすいケース | ・報連相、人間関係など |
| 今後の目標設定 | ・行動計画、キャリアプラン作成 |

■講師プロフィール／



田中 美和
[教養学部 准教授]
◆国家資格キャリアコンサルタント

百貨店の株式会社松屋の人事部にて12年間、社員教育や新卒採用を主に担当。
平成27年からいわき明星大学にて、キャリアデザインやインターンシップなど学生のキャリアに関わる授業を担当。

■研修場所／ いわき明星大学
2号館 2-102 講義室

■申込方法／ メールのみ
kyougikai@iwakimu.ac.jp

■申込期限／ 平成30年3月20日(火)まで

お知らせ

役員会のご案内

地域連携協議会会則に則りまして、「役員会」を下記のとおりで開催いたします。
ご多忙とは存じますが、ご予定の程、よろしくお願い申し上げます。

■日時／ 平成30年5月29日(火) 12時00分～13時00分

■場所／ いわき明星大学 薬学部棟 16-103 会議室

■内容／ **報告** (1)平成29年度 事業報告及び決算報告
(2)会員状況報告
(3)大学活動報告及び地域基盤型客員教授紹介

審議 (1)役員任期満了に伴う後任予定者の選出
(2)平成30年度 事業計画(案)
(3)平成30年度 定期総会に関する事項

ご投稿のお願い

RCC NEWS は、行政、企業、教育の思案や取り組み、成果等を互いに交換し合う共通のプラットフォームを提供することを目的として創刊しました。
多くの方々のご投稿を期待いたします。